



精一杯取り組むことで

学校長 小紫 達矢

日中はまだ暑い日がありますが、朝夕は随分と気温が下がりました。子どもたちの中には登下校で制服を着用している子もいます。兵庫県の新型コロナ感染者は、まだそれなりの人数が報道されていますが、一時期と比べると随分と減少し、岩壺神社のお祭りや金物まつりも感染対策をしながら実施されるようです。しかし、今後冬の感染拡大が心配されることから、学校内での感染対策は気を緩めることなく引き続き実施して参ります。

さて、この原稿を書いているのは9月27日。5年生の子どもたちは、ホースランドに自然学校に行っています。今年度は、3年ぶりに4泊5日の日程で自然学校を実施することになりました。もし、どちらかのクラスが学級閉鎖になってしまった場合、自然学校は延期・縮小になるところでした。5年生の子どもたちが元気に自然学校に参加できたことは大変うれしいことです。ご家庭での感染対策等にご配慮いただいた保護者の皆様に感謝いたします。

子どもたちが宿泊しているエオの森研修センターの風呂場の近くに2枚の大きな焼き板が飾られています。その内の1枚が三木小学校の物です。私が確認できる範囲ですが、現在の三木小学校の保護者の中で、その写真に写っている方が最低4人はおられます。その方々だけでなく、保護者の方の中には、ご自身が自然学校を経験された方も多いのではないのでしょうか。自然学校を経験された保護者の方に心の中には大切な思い出として残っているのではないかと思います。

過去2年間、自然学校は縮小する形で実施してきました。現在の中学1年生や小学校6年生の中には、もっと長く自然学校を経験したかったという思いを持っている子は少なからずいると思います。しかし、その時々で決められた期間、実施方法の中で子どもたちに可能な限りの貴重な経験を積ませてあげたいと考え、実施してきました。

自然学校は、子どもたちにとって一生一度の貴重な体験の場です。ただ、学校においてそんな体験の場は、自然学校だけではありません。毎年実施している校外学習もその学年の校外学習は一生で一度きりです。そう考えてみると、毎日の授業もそれぞれ一生に一度だと言えるでしょう。自然学校の出発式で、私は5年生の子どもたちに「それぞれの活動で精一杯取り組んで欲しい」と話しました。精一杯取り組むことで見えてくるものが違ってくると思っています。毎日の1時間1時間の授業、いろいろな行事、それぞれで私たちは子どもたちが精一杯取り組めるよう、私たちは準備し支援していく必要があります。また、子どもたちには、何事においても精一杯取り組んで、自分の可能性を伸ばして欲しいと思っています。



【ダンスの練習をする子どもたち】



【キンボールをヒットする】